


広島銀行様・メットライフ生命様 協働社会貢献活動  
寄附金（第18期：平成28年度上期分）の活用状況




公益財団法人ひろしまこども夢財団

# 1 児童養護施設

施設名	1 広島修道院（定員：80名）	2 津田子供の家（定員：36名）	3 こぶしヶ丘学園（定員：66名）
所在地	広島市東区尾長西2丁目8-1	廿日市市津田 596	福山市加茂町大字下加茂 899
活用状況	院内花火大会	幼児の小旅行	製氷機の購入
施設からのお礼の言葉	<p>いつも温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>毎年恒例の院内花火大会を夏休みに開催しました。</p> <p>地域住民の方にも呼びかけて当院グラウンドで行いました。子どもも大人も打ち上がる花火に歓声を上げていました。</p> <p>夏の良い思い出となりました。</p> <p>ありがとうございました。</p>	<p>いつも温かいご支援ありがとうございます。</p> <p>この度は幼児ホームの幼児ら12名の小旅行の費用に寄附金を活用させていただきました。</p> <p>坂町のホームセンター「ナフコ」内にある「キッズ US ランド」へ行きました。巨大なボールプールやアスレチック、バルーンランポリンが設置しており、普段施設で体験できない活動を行うことができました。</p> <p>幼児らは体力の続く限り汗びっしょりになりながら遊んでいました。帰りには、回転寿司店に行きました。普段から食事マナーについて教えられており、お行儀よく楽しく食事を行うことができました。</p> <p>今後ご支援の程よろしくお願い致します。</p>	<p>いつもご寄附ありがとうございます。</p> <p>今年も猛暑が続きましたが、子ども達は元気に通学し、夏休みも毎日のようにクラブに励んでいました。</p> <p>通学には水筒を持参しており、それぞれ冷たくするために氷を入れて行きますが、冷蔵庫が冷えることがないくらい開け閉めされ、氷ができにくい状態でした。</p> <p>そこで、子ども達の希望もあり、製氷機を男女に2台購入させていただきました。</p> <p>子どもたちは、自動で出てくる氷に驚き、また、氷がたくさんできることに喜んでいました。</p> <p>ありがとうございました。</p>
			


施設名	4 仁風園 (定員：76名)
所在地	呉市仁方西神町35-11
活用状況	園内バーベキューの開催，コンロの購入
施設からの お礼の言葉	<p>8月21日の日曜日，夏休みの終わりを告げる，園内バーベキューを実施しました。過去2年，曇り，雨で，今年の天気は晴れ。グラウンドでのバーベキュー(夕食を兼ねた)は，今年で3回目となりました。</p> <p>お天気にも恵まれ，ボランティアさんをお迎えし，子ども，大人ともたくさん的人数でこの日を迎え，準備，段取り等順調に進む予定でしたが，タイムスケジュールを間違えて悪戦苦闘，明るいうちになんとかバーベキューを行なおうと，今回は大人が大慌てをしました。</p> <p>火がなかなか付かず，子ども達はおなかを空かせていましたが，火が付くのを優しく待っていてくれました。来年は，タイムスケジュールを間違えず，子ども達が準備，火起こしを主体的に出来るようにしたいと思います。</p> <p>ご寄附により，いつもよりいいお肉・ウインナー等バーベキューの材料を確保させていただき，また，今年は，バーベキューコンロを2台追加購入させていただきました。</p> <p>いつもご支援をいただきありがとうございます。</p>

施設名	5 救世軍豊浜学寮（定員：44名）	6 福山ルンビニ園（定員：36名）
所在地	呉市豊浜町豊島3082-5	福山市加茂町北山176-12
活用状況	「2学期ガンバローゼ会」（バーベキュー大会）	夏休みのディキャンプ
施設からの お礼の言葉	<p>平素より弊施設に対して多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>今回ご寄附いただいたお金は、夏休みの終わりに在籍児童も職員も一緒になって2学期への士気を高めるために毎年行っている「2学期ガンバローゼ会」と称したバーベキュー大会のために活用させていただきました。</p> <p>炎天下の中で非日常の食事を楽しみ、1人ひとりが2学期の目標を全員の前で発表し、お互いを励ましあいました。</p> <p>このような会を設けることができるのも、皆様方のご支援があつてこそと、深く感謝しております。誠にありがとうございます。</p> <p>今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。</p>	<p>夏休みのディキャンプに利用させていただきました。</p> <p>夏休みも終わりに近いほぼ全員集まる日曜日に、ルンビニ園の芝を張った園庭で行いました。</p> <p>◆ バーベキュー 厨房の先生の指導の基に、園の畑で作った玉ネギ、キャベツ、ピーマンなどと、買ってきたお肉を入れバーベキューを楽しみました。 子どもたちは、野菜も美味しかったようですが、やはりお肉が一番美味しかったようです。</p> <p>◆ レクリエーション 食事の後、ビンゴゲームや各棟で出しものをして競い合い、皆、景品を受け取りました。</p> <p>◆ 花火大会 最後に花火大会をして、楽しい夏休みの一日を過ごす事ができました。</p> <p>ありがとうございました。</p>

施設名	7 似島学園（定員：120名）
所在地	広島市南区似島町字長谷 1487
活用状況	創立70周年の盆法要並びに原爆慰霊祭
施設からのお礼の言葉	<p>広島銀行様、メットライフ生命様には、毎年ご寄附をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>今年は、児童養護施設 似島学園が創立70周年を迎え、記念にふさわしい盆法要並びに原爆慰霊祭を全児童・職員・学校教員・ボランティアの皆さんで行うことができました。70周年ということで例年以上に、子どもたちは灯籠作りに集中し、思いを込めて作っていました。</p> <p>いただいた寄附金は、約200個の灯籠を作るための、半紙、トレイ、厚紙、糊、ろうそくなどの材料を、購入するために利用させていただきました。誠にありがとうございました。</p> <p>灯籠流しの様子です⇒</p> 

施設名	8 子供の家三美園（定員：70名）	9 広島新生学園（定員：80名）
所在地	尾道市美ノ郷町三成372	東広島市西条町田口391-2
活用状況	お菓子作り用材料，調理道具の購入	中央森林公園でサイクリング
施設からのお礼の言葉	<p>子供の家三美園ではより家庭的な雰囲気のもと生活できるよう、建物を立て直し、それぞれの居住グループにキッチンを設置しております。子どもたちは休日になると各々調理やお菓子作りを楽しんでおります。</p> <p>この度は児童から強い要望で、ホットケーキミックス、シロップ、はちみつ、お菓子作り用調理道具を購入いたしました。</p> <p>ホットケーキミックスを使い、女の子たちはたこ焼き用ホットプレートを使用し、ベビーカステラを作りました。幼児から中学生まで率先してクルクルと生地をまわして、きれいな丸い形になるようがんばっておりました。最初はうまくできませんでした。みんな飲み込みが早く、幼児もきれいなカステラを作ることができました。</p> <p>ベビーカステラを綺麗に盛り付け、フロートジュースも作り、みんなでカフェのような雰囲気で楽しく食べました。</p> <p>この度も広島銀行様，メットライフ生命様のご協力で子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。心よりお礼申し上げます。</p>	<p>いつも心温まるご寄付をありがとうございます。</p> <p>今回、小学生が楽しみにしている行事のひとつ、広島空港が見渡せる森林公園でのサイクリング♪に小学生26名、幼児11名で行って来ました。</p> <p>お昼のお弁当は、こどもたちのリクエストで、「すき屋」の牛丼！テイクアウトして飛行機の発着を見ながらいただきました。お腹がいっぱいになった後は、いざサイクリング!! 小学生は心地よい風を受けながら長距離のサイクリングコースを颯爽と走り回り、幼児さんは、『おもしろ自転車コーナー』で、いろいろな自転車に乗車し、楽しい時間を過ごしました。</p>



	10 八幡学園（定員：60名）	11 救世軍愛光園（定員：30名）
所在地	広島市佐伯区八幡1丁目5-20	呉市青山町1-3
活用状況	野外パーティー	夏休みの旅行
施設からのお礼の言葉	<p>今夏に、全員参加による野外パーティーを催した際に活用させていただきました。</p> <p>中高生と職員が、流しソーメン・お好み焼き・焼き肉のメニューを協力して作り、皆に振る舞いました。人気メニューが揃ったということもあり大盛況となりましたが、中でも流しソーメンは非日常的な季節行事とあって盛り上がりました。</p> <p>全体の輪を感じる事が出来る、思い出たくさん行事を開くことが出来ました。ありがとうございました。</p> 	<p>日頃より、たくさんの皆様よりご支援をいただき、感謝しております。</p> <p>今年も、夏休みにみんなで旅行に行ってきました。旅行は夏の大イベントです。</p> <p>各グループでどこに行きたいか、一緒に計画を立ててから行きました。</p> <p><b>【幼児】</b></p> <p>小さい子たちは日帰り旅行で牧場に行き、動物とふれあい、エサをあげたり、普段ではできない体験ができて楽しく過ごせました。「来年もここに来たい！」と早くも話題になっています。</p> <p><b>【児童・生徒】</b></p> <p>小学生以上の子供達に人気なのはテーマパークです。</p> <p>アトラクションやプールで思い切り遊び、とっても楽しめたようです。中には絶叫アトラクションが大好きで、何度も何度も乗る子もいました。他にもカラオケやボーリングのできるアミューズメントパークにも行きました。来年はどんな旅行になるかなと楽しみです。</p> <p>今後も、子供たちのためにより良い支援ができるように努めて参りますので、どうぞよろしくお願ひします。</p>

施設名	1 2 光の園摂理の家（定員：4 2名）
所在地	廿日市市地御前1 8 9 5
活用状況	夏休みの思い出作り（小学生の大山キャンプ&シーカヤック）
施設からの お礼の言葉	<p>日 程 2016/7/16(土)～18(月)</p> <p>行 程 廿日市～三原～松永～鳥取(大山)～島根(松江)～岡山(蒜山)～廿日市</p> <p>内 容 三原教会の大山キャンプに帯同。 5年生以上の小学生7名と引率職員3名でカヤックと登山、海水浴とかなり欲張りな体験ツアーに参加。</p> <p>初日のカヤックでは、ライフジャケットを着て湖に浮くカヤックに一人で乗る子や、職員とタンデムで楽しそうにパドルを漕いでいる子など、初めての体験に職員共々ドキドキの体験でした。夜にはキャンプファイヤーと花火で盛り上がり大山青年の家で疲れと共に熟睡しました。</p> <p>2日目の大山登山は、小学生には無理かと思われたのですが、全員が山頂まで登りました。子ども達は意外に元気でしたが、職員はかなりお疲れモードに突入し、それでも雲を下に見ながらのお弁当は格別の味でした。下山後、カトリック系の高校の宿舎を借りてカレー作り。これもまた野活の醍醐味です。</p> <p>最終日は、強行軍で松江での海水浴。子ども達のパワーには脱帽でした。帰途に就いた際にナビに導かれ彷徨いながら園についたのも疲れと共に良き思い出となって子ども達の中に刻まれたことでしょう。</p> <p>毎年の楽しい行事に頂いた寄付金を使わせて頂いております。本当にありがとうございます。</p>



## 2 乳児院

施設名	1 広島乳児院（定員：29名）	2 福山乳児院（定員：30名）
所在地	広島市東区尾長西2丁目8-1	福山市瀬戸町大字地頭分 2504-2
活用状況	ホットカーペットの購入	のびのびカラーカーペットの購入
施設からのお礼の言葉	<p>いつも暖かいご支援をありがとうございます。</p> <p>当院では、平成29年4月からの「小規模ユニットケア」の開始に向け、この秋から本体施設の改修工事に入りました。</p> <p>その間、子どもたちは仮設建物で一時的に生活することになりますが、冬場の最も寒い時期を前に、この度の寄附金で、フローリング用の電気ホットカーペットを購入させていただきました。</p> <p>これで、冷え込む日も暖かく快適に過ごすことができます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">小規模ユニットケア・・・少人数グループを1つの生活単位（ユニット）として、専用の居室と職員を配置することで家庭的できめ細かなケアが可能になります。</p>	<p>広島銀行様とメットライフ生命様には、心からの敬意を表し、感謝申し上げます。</p> <p>福山乳児院では、乳幼児がのびのび遊べるように、学研ののびのびカラーカーペット2枚を購入しました。</p> <p>乳幼児がカラーカーペットで楽しく遊んでいる姿を見ると、心から良かったと思います。今後も、このカラーカーペットで何人もの乳幼児がすくすくと育つよう大切に使用させていただきます。</p> <p>今後も、乳幼児のより良い養育を行い、元気に育つよう職員一丸となって頑張っていきたいと思っています。</p>
		

### 3 ひろしまこども夢財団

法人名	公益財団法人ひろしまこども夢財団										
所在地	広島市中区基町10-52										
活用状況	親育ち応援プログラムの実施										
お礼の言葉	<p>広島銀行様、メットライフ生命様の御支援による児童養護施設等への寄附事業は、平成19年度の開始から、本年度で10年目を迎えました。10年もの間、社会貢献活動を継続されておりますことに深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。</p> <p>弊財団では、いただきました寄附金を県内の児童養護施設、乳児院に贈呈し、入所する子どもたちが心豊かに成長するための様々な行事の開催や備品購入に活用されております。</p> <p>また、弊財団におきましても、子供の健やかな成長と子育てを応援する事業に活用させていただいております。</p>										
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1 親子の絆づくり (通称：BPプログラム)</td> <td>2 お父さん応援プログラム</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>親子の絆づくり、親どうしの仲間づくり、乳児期に必要な基礎知識の獲得を目的に、0歳の子どもを初めて育てている親のためのプログラムを4週連続4回実施</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>育児における父親の役割と家庭の両立などについて考える研修プログラムの実施</li> <li>企業単位で開催</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>参加者の声</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の赤ちゃんと同じところ、違うところが見えて大きな心でわが子に接することができるようになった。</li> <li>他のお母さんが子どもに接する方法を学べたし、安心した。</li> <li>いつも悩んだらネット検索しかできなかつたが、他のお母さんも同じように悩んでいると共感できてよかった。</li> <li>テレビを消して落ち着いて接することができるようになった。自分も大事にし、赤ちゃんも大切に育てていきたい。</li> <li>100%を求めて頑張りすぎていた。70%でいいと思えて楽になった。</li> <li>無我夢中で子育てをしてきたが、話し合いを重ねることで、少し客観的になることができ、子育てに余裕が生まれた。</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>職場の人と育児や家庭のことを話すのは新鮮。両立の悩みは自分だけじゃないと心強くなった。</li> <li>本研修を受講するまで、ワーク・ライフ・バランスは家族に費やす時間を増やすことで成り立つものと考えていましたが、本当のワーク・ライフ・バランスは、いかに接するかが重要であると気付きました。</li> <li>今日は、早く帰って家族とふれあおうと決めました。今後も、できるだけ早く帰れるよう、効率良く仕事していきたいと思えます。</li> <li>こうした講座に初めて参加して、パートナーの思っていることに気付いた。</li> </ul> </td> </tr> </table>		1 親子の絆づくり (通称：BPプログラム)	2 お父さん応援プログラム	内 容	親子の絆づくり、親どうしの仲間づくり、乳児期に必要な基礎知識の獲得を目的に、0歳の子どもを初めて育てている親のためのプログラムを4週連続4回実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児における父親の役割と家庭の両立などについて考える研修プログラムの実施</li> <li>企業単位で開催</li> </ul>	参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の赤ちゃんと同じところ、違うところが見えて大きな心でわが子に接することができるようになった。</li> <li>他のお母さんが子どもに接する方法を学べたし、安心した。</li> <li>いつも悩んだらネット検索しかできなかつたが、他のお母さんも同じように悩んでいると共感できてよかった。</li> <li>テレビを消して落ち着いて接することができるようになった。自分も大事にし、赤ちゃんも大切に育てていきたい。</li> <li>100%を求めて頑張りすぎていた。70%でいいと思えて楽になった。</li> <li>無我夢中で子育てをしてきたが、話し合いを重ねることで、少し客観的になることができ、子育てに余裕が生まれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場の人と育児や家庭のことを話すのは新鮮。両立の悩みは自分だけじゃないと心強くなった。</li> <li>本研修を受講するまで、ワーク・ライフ・バランスは家族に費やす時間を増やすことで成り立つものと考えていましたが、本当のワーク・ライフ・バランスは、いかに接するかが重要であると気付きました。</li> <li>今日は、早く帰って家族とふれあおうと決めました。今後も、できるだけ早く帰れるよう、効率良く仕事していきたいと思えます。</li> <li>こうした講座に初めて参加して、パートナーの思っていることに気付いた。</li> </ul>
		1 親子の絆づくり (通称：BPプログラム)	2 お父さん応援プログラム								
	内 容	親子の絆づくり、親どうしの仲間づくり、乳児期に必要な基礎知識の獲得を目的に、0歳の子どもを初めて育てている親のためのプログラムを4週連続4回実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児における父親の役割と家庭の両立などについて考える研修プログラムの実施</li> <li>企業単位で開催</li> </ul>								
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の赤ちゃんと同じところ、違うところが見えて大きな心でわが子に接することができるようになった。</li> <li>他のお母さんが子どもに接する方法を学べたし、安心した。</li> <li>いつも悩んだらネット検索しかできなかつたが、他のお母さんも同じように悩んでいると共感できてよかった。</li> <li>テレビを消して落ち着いて接することができるようになった。自分も大事にし、赤ちゃんも大切に育てていきたい。</li> <li>100%を求めて頑張りすぎていた。70%でいいと思えて楽になった。</li> <li>無我夢中で子育てをしてきたが、話し合いを重ねることで、少し客観的になることができ、子育てに余裕が生まれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職場の人と育児や家庭のことを話すのは新鮮。両立の悩みは自分だけじゃないと心強くなった。</li> <li>本研修を受講するまで、ワーク・ライフ・バランスは家族に費やす時間を増やすことで成り立つものと考えていましたが、本当のワーク・ライフ・バランスは、いかに接するかが重要であると気付きました。</li> <li>今日は、早く帰って家族とふれあおうと決めました。今後も、できるだけ早く帰れるよう、効率良く仕事していきたいと思えます。</li> <li>こうした講座に初めて参加して、パートナーの思っていることに気付いた。</li> </ul>									
	<p>本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。</p>										